



東桜コンピテンシー「⑧表現力・発信力 ⑩傾聴力」について

⑧表現力・発信力

「自分の考えや意見、アイデアを他者に伝える力、また伝えようとする意思。」

⑩傾聴力

「他者の視点にたつて物事をみたり、想像力を駆使してコミュニケーションの相手がどんなことを感じているか、考えているかを察したりする力。」

(i) まずは、人の話をよく聴くことから

⑧と⑩については、「コミュニケーション能力」と置き換えることができるかもしれませんが、敢えて「傾聴力、表現力、発信力」としました。それは、コミュニケーションの基本は、まず、「人の話を聴くこと」から始まるのではないかと、いうことを強調したかったからです。

(ii) 相手の立場に立つことでよりよいコミュニケーションに

よいコミュニケーションをとることができるか否かは、相手の立場に立つことができるかどうかという視点で考えればうまくいくように思います。そのためには、まず、相手のことを知り、そして、相手に適切にそれが伝わるように、自分なりに工夫することを心がけていけば円滑なコミュニケーションが図られるようになるでしょう。

(iii) 「伝えたい思いや考えをもつこと」「自分の考えを伝えようとする意思をもつこと」

また、自分の考えを積極的に発信しなければ、相手に自分の気持ちや考えは伝わらず、コミュニケーションは成立しません。日本的な“阿吽（あうん）の呼吸”も大切にしたいところですが、グローバル化が進むこれからの時代を生きていく皆さんは、やはり自分の気持ちや考えを積極的に発信しようとする前向きな気持ちを大切にしたいと思います。

東桜学館では、国際理解教育として英会話のスキルを磨いていますが、いくら英語が話せても、伝えようとする意思がなければ、あるいは、伝えたい自分の思いや考えがなければ英語でのコミュニケーションはうまくいかないはずで、(むしろ、スキルよりも相手に理解してほしいという思い(熱意)や伝えたい内容(何を伝えたいのか)のほうが私は大切だと思います。)

(iv) 多様な意見を出し合う中で新しい価値(アイデア)が生まれる

多様性の中から新しいアイデアが生まれ、イノベーションが起こると言われています。

しかし、一方では、人と違うことを嫌がったり、人と異なる意見を出すことが憚(はばか)られたりする、所謂(いわゆる)「同調圧力」を感じる空気が日本には根強くあります。

東桜学館の様々な活動の中で学ぶ、デザイン思考に基づく「Yes, And」の考え方やブレインストーミング等の手法に取り組む中で、他者と協働しながら新しい価値を創造する力を少しずつ身につけてほしいと思います。その際には、是非、多様な意見に対する寛容さを持ち、多様な意見を出し合うことを大切にしてください。

特に、インターネットやSNS等の登場により、自分と同じような考えだけに触れることができるようになったネット社会においては、多様な意見に対する寛容さをもつことは大切なことだと思います。

(v) 思いを伝わりやすくするためには、言葉以外のコミュニケーションも大切

伝えたい内容と伝える意思をもったうえで、相手にそれをより伝わりやすくするためには、話す言葉の内容も、もちろん大切ですが、言葉以外の手段によるコミュニケーション（非言語コミュニケーション、ノンバーバル・コミュニケーション）も大切だと言われています。

アメリカの心理学者アルバート・メラビアンによると、「話し手」が「聞き手」に与える影響がどのような要素で形成されているのかについて、次のような報告がなされています。

- ・視覚情報：見た目、身だしなみ、表情（視線）など・・・55%
- ・聴覚情報：声の質・大きさ・速さ（テンポ）・・・38%
- ・言語情報：話す言葉そのものの意味・・・7%

この結果を見てわかるとおり、話す内容も大切ですが、話し方や視覚的な情報も相手に大きな影響を与えているということを意識してコミュニケーションをはかる必要があるようです。

(vi) プレゼンテーションのスキルも磨きましょう

東桜学館では、様々な場面でプレゼンテーションの機会があります。ここでは、次のような点も大切にしたいものです。

- ・顔の表情、視線、身振り、手振り、体の姿勢、相手との物理的な距離の置き方などを工夫する。
- ・スライドやポスターの作り方の基本を学び、よりよく伝わるよう工夫する。
- ・時間を守る。
- ・質疑応答の準備も怠らない。

(vii) 経験を積む中でコミュニケーションの力を磨いていきましょう

東桜学館では、授業や探究活動など、様々な場面で傾聴力、表現力、発信力といったコミュニケーション能力を磨く場面がたくさんあります。日々の活動の中で、少しずつ自分のコミュニケーション能力を磨いていくことによって、前向きに人とかわることができる人になるはずです。自信をもってコミュニケーションしましょう。

令和元年（2019年）8月